

ろう と きょう

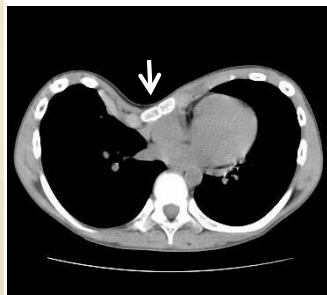
漏斗胸の治療を考えられている方へ

静岡県立こども病院 小児外科

ろう と きょう 漏斗胸とは

漏斗胸とは、胸の前面が背中に向かって凹んでいる病気です。凹みの状態には個人で差があり、軽い人もいれば深い人もいます。幼少期には胸の形はさほど気にならなくても疲れやすい、風邪が長引いたりするとといった症状があります。就学後はこれらの症状は改善することも多いですが、胸の形が友達と違うことがしだいに気になるようになり、コンプレックスをかかえてしまうこともあります。基本的に、自然に漏斗胸がよくなることはほとんどありません。また、第二次成長期の頃に凹みや胸の変形が強く進むお子さんもおられます。

これらを考えると、10歳頃までに治療を行うのが良いかと思えます。



胸の前面が大きく凹んでいます。CTでは、心臓が通常的位置より左により、胸骨(矢印)が大きく捻れているのが分かります。

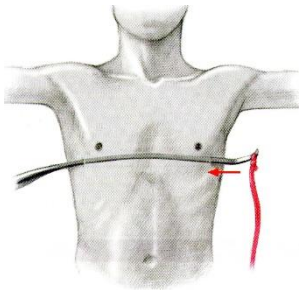
ろう と きょう 漏斗胸の治療について

漏斗胸の治療は、現在では胸腔鏡下胸骨挙上術^{きょうくうきょう か きょうこつきょじょうじゅつ}、別名Nuss手術^{ナス}が広く行われるようになってきています。この方法は90年代にアメリカで開発され、日本に導入された手術です。従来行われていた胸郭形成術^{きょうかくけいせいじゅつ}では、胸の中央部に5cm程度の傷を加えて手術を行っていたため、正面からは傷が目立つという問題点がありましたが、Nuss手術では胸の側面の2cm程度の傷で手術ができるため、従来の手術ほど傷が気にならなくなりました。こども病院では、漏斗胸の治療は平成13年からNuss手術^{ナス}を標準の手術として採用し、年間約10例前後に行い、良好な結果が得られております。

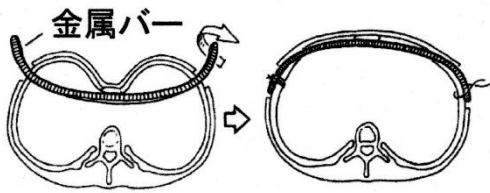
きょうくうきょう か きょうこつきょじょうじゅつ ナス 胸腔鏡下胸骨挙上術(Nuss手術)

手術は全身麻酔^{ぜんしんますい}で行います。胸の両側面に2cm程度の傷を加えて、お子さんの胸の形に合わせて形を整えた、金属製(チタン製、症例によってはステンレス製)のバーを通します。この時、心臓^{しんぞう}の前面を通過^{きょうくうきょう}しますので、安全のため胸の内部を胸腔鏡(特殊なカメラ)で観察しながら行います。金属バーは、肋骨^{ろっこつ}に糸でしばりつけて、位置がずれないように固定します。手術中の合併症^{がっぺいしょう}として、これらの操作による予想しない出血や、周囲臓器^{しゅういぞうき}の損傷

(肺・心臓)がありますが、不幸にして起きた場合は、適切に対処をいたします。術直後、気胸(胸の中に空気が残ること)や胸水貯留(水がたまること)が起こることがありますが、多くの場合は軽度であり、自然に治ります。



両側面に傷を加えて、金属バーを胸腔内に通し、反転させます。



胸腔鏡下胸骨拳上術の術後

手術の後はとても痛みが強いので、手術中から硬膜外麻酔(背骨の中の痛みを感じる神経をしびれさせる)、医療用麻薬(強力な痛み止め)、また通常痛み止めを組み合わせ使います。これらの詳細につきましては、麻酔の担当医にお尋ねください。

手術の翌日までは痛みのため座るのでも大変ですが、1週間もたつ頃には、歩いて日常生活に差し支えない程度の動作はできるようになります。痛みにより呼吸が浅くなり、無気肺(肺に空気が入りにくくなること)がおこることがありますので、深呼吸をすること、痰をしっかり出すことが必要です。これには手術を受けられるお子さんや、親御さんの協力も必要ですので、よろしく願いいたします。日常生活が可能と思われれば(目安としては、ベッドから自力で立ち上がり、トイレに歩いて行くこと

ができる程度です)、退院といたします(多くの場合、手術後8~10日程度です)。

退院後は、金属バーが体内にうめこまれた状態で2~3年間経過していただきます。多くの運動は可能ですが、胸に衝撃を受けるような競技(ドッジボール・空手の試合など)は制限しております。詳しくは担当医にお尋ねください。飛行機に乗る場合など、金属探知機の検査で引っかかることがありますので、希望される方には退院時に証明書をお渡しします。

金属バー長期留置中の合併症としては、バーの急激なずれによる血胸・気胸(胸の中に出血や、空気がたまること)、バーの感染、成長に伴うバーの位置のずれ、肋骨の圧迫による痛みなどがあります。バーのずれや圧迫については、定期的に外来でレントゲン等を使って観察します。急激なずれや感染が起きた場合(多くは痛みを伴います)は、速やかにこども病院までご相談ください。

体内にうめこんだ金属バーは、約2~3年程度たった後、再度手術を行い取り除きます。この時の手術後は、はじめの手術ほどの痛みはありませんので、約3~5日間程度の入院となります。



術後(バー抜去後)の外観写真。凹みが矯正されています。